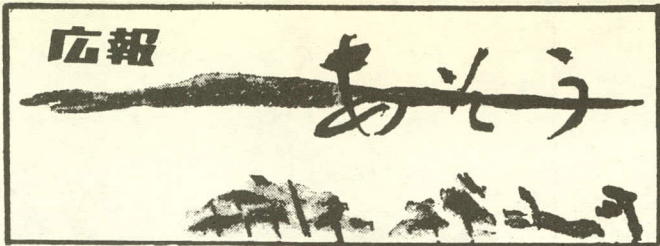


8月15日
No. 248

〈人口〉
男 9,047人
女 9,274人
計 18,321人
世帯数 4,100戸

広報



麻生町1561-9
電話②0811(代)

麻生町役場
蔵刷
幸印
沼生
小麻

8月のメモ

- 1日 太田小プール竣工式
- 3日 霞ヶ浦、北浦大清掃
- 4日 成人病検診
- 11日 町議会臨時会
- 15日 シジミ取り、宝さがし大会
- 18日 選管委員会
- 18日 一般住民健診
- 20日 農業委員会
- 25日 例月出納検査
- 25日 一般住民健診
- 27日 一般住民健診
- 28日 南田園都市センター建設委員会
- 29日 老人クラブ役員会

戦没者追悼式

終戦三十年を記念して挙る

当町関係の戦没者六百八十七柱の追悼式が、七月八日町民体育館で、おそかに執りおこなわれました。

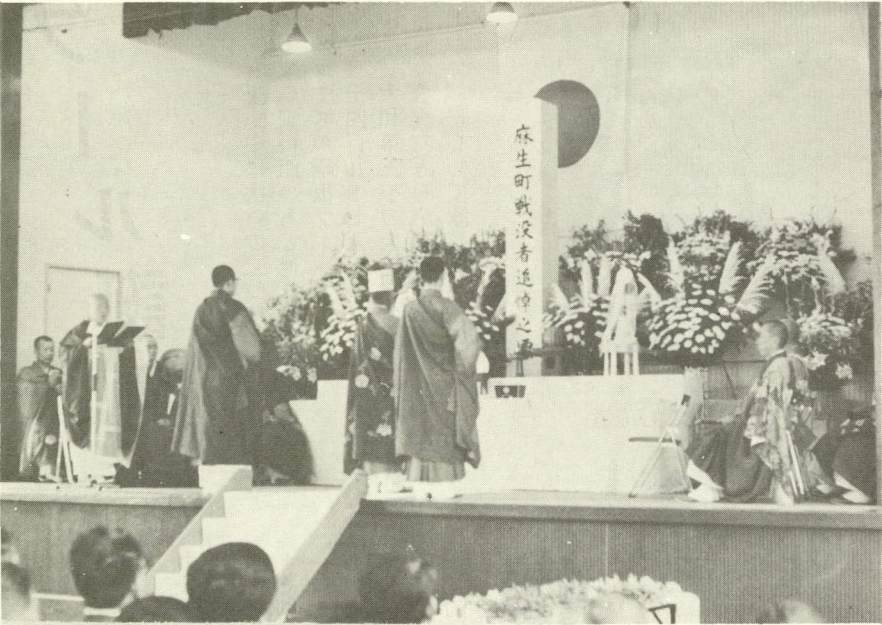
戦没者の遺族と各界の代表者、町当局者約八百人が参列し、殉国の英霊に対して敬けんな追悼の誠をささげられました。

式典は午前十時から始まり、君が代斉唱のあと、一分間の黙とうがささげられ、続いて小沼町長の式辞があり、「私は、今あらためて戦没者諸

士の霊のご遺徳をしのび、悲戦争の記憶をもつ人が次第に少なくなつてきています。今日の自由と平和は、私たち肉親のおびただしい血の犠牲によつて獲得されたものです。この自由と平和の尊さを、一人一人の力で相まもり、次代に伝えていく責任を、あらためて自覚していききたいものです。

追悼法要は、皇徳寺門井道隆住職の導師により進められ、厳粛のうちに、すべての式は正午に終了しました。

終戦から三十年がすぎた今



厳粛におこなわれる追悼法要



式辞を述べる小沼町長



式場にあふれる参列者

第四回臨時町議会

三議案を議決

第四回臨時町議会が七月三十一日開催され、条例の一部改正を含む三議案が、原案どおり可決されました。

〔議案第32号〕
麻生町職員定数条例の一部を改正する条例

麻生町職員のうち、これまでの町長の事務部局の定数九十三人を九十四人に、また幼稚園教諭および助教諭の定数十三人を十四人と、それぞれ改正したものです。

〔議案第35号〕
麻生町立行方小学校防音改築工事請負契約について
この工事について指名競争入札の結果、契約金額一億五

〔善意〕
於下祐寿会、行方小学校へぞうきん百五十枚を贈りました。

麻生中四十九年度卒業生一同、並びに五十年入学生一同は、同校格技場前庭へ植込みを贈りました。

麻生の日本農芸研究所代表小松崎千代松さんは、麻生中学校へソテツ一株とキョウチク桃二十本を贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

蔵川の山口静子さんは、蔵川老人クラブへ一万円。

麻生の稲川広さんは、龍翔寺保育園へ子供用三輪車二十台。

麻生の小松本靴店さんは、麻生保育園へ園児用アップシューズ三十足。

白浜の大原清さんは、白浜子供会へ二千元。白浜老人クラブへ二千元。

麻生の高野軍司さんは、下刈和幸老人クラブへ二万円。

矢幡長寿会、太田小学校へぞうきん百枚。

麻生の藤上志磨さんは、下刈老人クラブへ一万円。

岡の宮内周蔵さんは、岡老人クラブへ五千元。

麻生の瀬尾峰夫さんは、町の福祉事業へ二万円。

手数料の一部を改正

麻生町手数料徴収規則の一部が改正されました。

臨時運行許可申請の手数料は、これまで一車両につき二百円でしたが、七月二十六日から四百円と改められましたのでお知らせします。

沖縄への旅行者へ

沖縄国際海洋博覧会が、七月二十日から来年一月十八日までの半年間開催されます。

当町からも多くの観光客が訪沖するものと予想されます。

沖縄県は、復帰前から現在も通行方法が、本土とは逆に「車は右側、人は左側」通行となっておりますので、沖縄を訪れた旅行者が、悲惨な交通事故にあわないように、歩行者に対する注意事項をあげてみました。

(一)左側通行の励行

歩車道の区別のない道路の左端を通行してください。歩道・路側帯のある道路では、その部分を通行することは、いまでもありません。

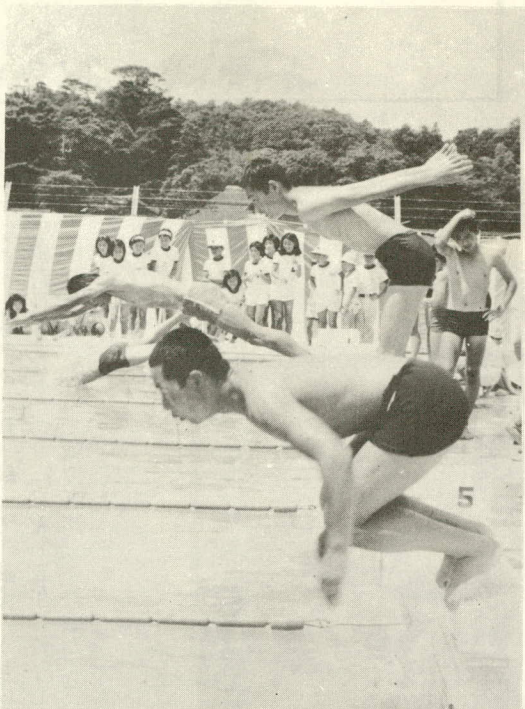
(二)道路横断の方法

車が左側から走行して来ますので、「左を見て、右



太田小にプール誕生

八月一日、太田小学校に当町では、麻生一中に次いで二つ目のプールが誕生しました。これまでの資料館のあと地に建設されたもので、二十メートル六コースの鋼板プールで、除鉄装置を取りつけるなどして、二千四百九十七万円の費用がかけられたものです。太田小、大和第三小の生徒らに広く利用されます。霞ヶ浦や北浦の水質の汚濁が進み、水泳の場を奪われた子供たちにとって、安心して泳ぎが楽しめることでしょう。



竣工式に模範演技で元気に飛びこむ泳者

大和一号線の工事完了

町道大和一号線改良工事は、ことに深く感謝しています。国庫補助事業で、昭和四十八年より継続事業で実施してきましたが、改良延長二千二百九十メートル、幅員七メートルの二車線で、舗装完成の晩は立派な道路が完成されることと期待しています。これらのかげには、尊い用地の提供者はもろろんのこと。地元区長さん、役員、議員さん、がたの日夜を分たぬご協力と、関係機関の指導があったことに深く感謝しています。

十月一日は国勢調査

十月一日の茨城県人口は？

— 予想人口懸賞募集 —

昭和五十年国勢調査にあたって、次の要領で予想人口を募集しております。みなさんふるってご応募ください。

問題 昭和五十年国勢調査による本県人口は何人ですか？（十月一日現在）

ヒント 昭和四十五年国勢調査人口 二百四十四万三千五百五十一人。昭和五十年六月一日現在推計人口 二百三十一万九千四百五十三人。

応募資格 本県内に居住するかたで、昭和五十年九月三十日（当日消印有効）

賞金 特賞二万円 一名
一位一万円 三名
二位五千元 四名
三位二千元 十名

入賞発表 茨城県発表の人口概数により入賞者を決定し、昭和五十年十一月月上旬、新聞で発表します。なお入賞者には通知します。

麻生一中で避難訓練

麻生一中では地震の発生にそなえて、このほど避難訓練がおこなわれました。

七月十一日の正午を期して地震が発生したという想定のもとにおこなわれたもので、授業中の生徒たちは、校内放送により避難命令が伝えられ、と、いっせいに机の下に避難しました。避難解除命令が出され、いったん着席したあと、火災が発生したという想定で発煙筒がたかれ、ふたたび避難命令が出され、生徒たちはグラウンドの一角にすばやく避難しました。

このあと「大きな間違ひもなく比較的よくできました」と教頭先生の評があり、まずまずの成果でした。

とくに集団の多い建物などで地震や火災が発生すると、群衆心理が手伝って、異常な事態をひきおこすことがあり

短歌

新しき部屋に入りくる青葉風
背にうけながら新茶のみおり
梅雨ふかく湿りし土間に作業靴
脱げばゴムの香強くただよう
はてしなき大草原に草を食む
仔連れし馬の数団の群
風吹けるままにかたむく雪柳
白き小花を振りつつ散らす
いと小さき草花もていとしまに
抜く手ためらふ梅雨の晴れまに
子を亡くし時の流れに押し流されて
没落迫る老の身悲し
古稀迎へ福祉年金受ける吾れ
親の昔を思ひ涙す
わが終焉かく来るかも静もりて
細き雨降り夕庭昏む
梅雨空に風にもまるる栗の花
まだ幼くて穂の青白し
久々に妹の声伝え来る
電話のそばに甥の泣くらし

柳町さかん
山口正之丞
荒張 好喜
小沼 芳江
椿 よね
深見 義夫
深見 あき
箕輪 憲夫
渋谷 正子
瀬尾 孝子

防災の日へ九月一日

九月一日は防災の日です。災害についての認識を深めこれに対処する心構えをもちましょう。

あなたの声を待っています

町政についてのこと身近にあるいろいろな話題。あなたのアイデア。民俗行事、部落の催しや行事、あなたの身近なことなんでもけっこうです。

ご連絡ください。

広報係電話②(二二二)ではあなたの声を待っています。

戸籍の窓口

おめでとうございます				おくやみ申し上げます			
氏名	世帯主	住所	氏名	世帯主	住所	氏名	世帯主
久美子	スイ	富田	高野	正喜	73サ	高野	正喜
文子	久三	三	大輪	高司	34サ	大輪	高司
直子	利己	男	前山	政治	56と	前山	政治
和子	山本	ツル	前山	カツ	70隆	前山	カツ
加藤	敦	麻生	大里	あき	81幸	大里	あき
小沼	洋明	市郎	高栖	よし	81衛	高栖	よし
羽生	公子	徳次郎	石口	美由紀	稔	石口	美由紀
土子	真樹子	仲利	小島	崇弘	衛	土子	真樹子
小島	崇弘	衛	小島	崇弘	衛	小島	崇弘